２年生学年通信



平成３０年１２月２５日発行　　NO. 13

タイトル字デザイン:平岡美空さんのコメント

この文字はカラフルな羽や鳥で作られていて鳥は飛び立つ感じを表しました。カラフルにして十人十色という個性を表しています。氵は汗で、部活を頑張っているイメージ、天は影と光で描き立体感を出しました。

いよいよ冬休み、あなたはどのように過ごしますか？

明日から待ちに待った冬休みです。冬休みは課題をすることはもちろんですが、家族で過ごす時間を大切にしましょう。また、いつも仕事や家事などで忙しい家の人に感謝の気持ちを込めて、進んでお手伝いをしましょう。これらのことも大切ですが、来年のこの時期を想像してみてください。３年生の先輩のようすを見れば進路の最終段階にさしかかっていることがわかります。そうです。みんなの進路決定までの時間はあと１年もありません。この冬休みの間に卒業後の進路についても家族の人と話すようにしましょう。

今できることは…

大部分の人が高校への進学を考えていると思います。この冬休みに課題などをすることで自分の学力を高めることも大切です。ただ、おおよそでも目標を持っている人の方が頑張れると思います。どんな高校があるのかわからない人もいるので、公立高校、私立高校について簡単に説明しておきます。

●公立高校

例えば高校の名前が兵庫県立～、○○市立～で始まる高校です。伊丹市内ではいわゆる県高（兵庫県立伊丹高等学校）、市高（伊丹市立伊丹高等学校）、西高（兵庫県立伊丹西高等学校）、北高（兵庫県立伊丹北高等学校）、阪神昆陽（阪神昆陽高等学校）があります。他市の公立高校では兵庫県立宝塚東高等学校（宝塚市）や尼崎市立尼崎高等学校（尼崎市）、兵庫県立川西明峰高等学校（川西市）などもあります。

●私立高校

公立高校以外の高校です。伊丹市内にはありませんが、園田学園（尼崎市）や報徳学園（西宮市）、雲雀丘学園（宝塚市）や仁川学院（西宮市）などがあります。公立高校は聞いたことがあるけれども私立高校の名前はほとんど知らない人もいると思います。まずは周りの人（自分の兄や姉、近所の人や先輩）に高校生活はどんなものか、高校受験はどんなものだったかを聞いてみるとよいでしょう。

もっと先のことを考えると…

これから進路について考えるとき、高校への進学だけではなく、大学、大学院や専門学校への進学、会社への就職など、高校卒業後のことも考える必要があります。まずは自分で深く考えることが大切です。進路決定に際しては、ひとりで決めるのではなく、周囲の話も参考にして、最終的には本人・保護者ともに納得して結論を出して欲しいと思います。進路とはゴールを決めることではなく、自分の進むべき方向を決めることです。人生という「道」を歩いて行くときは、常に最短距離を通るばかりでなく、途中で寄り道や回り道をすることもあります。どんな道でも最終的には自分のやりたいことにつながっているのだと信じて、まずはいろいろな人とこの冬休みに話をするようにしましょう。

２学期を振り返って

「５／９（９分の５）」　２年生代表　２年３組　野尻　芽実

中学校生活の半分以上が終わりました。これまでの中学校生活の中で、２年生のこの２学期が一番忙しかったけれど、一番充実していて、一番楽しかったです。

夏休みが明けると、すぐに体育大会の練習が始まりました。今年は雨や台風による休校が多く、グラウンドでの練習があまりできませんでした。少ない時間と限られた場所の中で、最高の演技に仕上げるために、組体操のペアやグループの人と力を合わせ、１時間１時間集中して取り組みました。お互いに「もっとこうした方がいいんじゃない。」「○○さん、こっち。」などと声をかけ合い、みんな演技を成功させたいという強い思いが溢れてきました。また、休憩時間も他愛のない話をして、お互いをより知っていくうちに、信頼が生まれ、お互いがお互いの「希望」となり、支え合い、本番では最高の演技ができました。合唱コンクールの練習では、最初は全然声が出ていなかったし、クラス全員の気持ちが１つになっていませんでした。音楽の授業も集中できていませんでした。しかし、クラス練習が始まると、パートリーダーが中心となって各パートを引っ張っていき、最初とは比べものにならないほど声も出て、気持ちが１つになったと感じられる歌が完成しました。結果は優秀賞。最優秀賞は取れなかったけれど、クラス全員で協力して取った優秀賞だったので、私はとても嬉しかったです。

１１月には、校外学習が待っていました。「共存共栄～修学旅行へのｓｔｅｐ　ｕｐ～」の学年目標のもと、班のメンバーと一緒に伊丹駅や中山観音駅から京都まで行き、そのまま京都市内を班別活動。１学期にトライやる・ウィークで学んだことを活かし、マナーを守りながら京都の風情や文化を楽しみました。しかし、事前の計画通りにチェックポイントを回ることができない班が多く、計画書に基づいて行動することが、この学年の課題だと分かりました。また、「忘れ物をしてもいいや。」という気持ちを無くし、忘れ物をすると周りに迷惑がかかることを全員が理解するために、校外学習に向けて、自分たちで提案して授業の忘れ物チェックを行いました。チェックをする中で、「○○したら上手くいくのかな。」など委員長会のメンバーで悩んだり、「○○したら上手くいくと思う。」と案を出し合ったりしました。忘れ物の数は初日から段々減っていきましたが、残念ながら「忘れ物ゼロ」を達成することはできませんでした。これらは、普段の生活の中でも意識しなければならないことです。来年の修学旅行に向けて、委員会の人を中心に声をかけながら、一人ひとりがしっかりと意識をし、当たり前のことは当たり前にしていけるように見直しをしていきたいです。

部活動では、３年生の先輩方が引退し、私たち２年生が後輩を引っ張る番になりました。今までの先輩方のように、バレーに打ち込む姿勢で集団を引っ張っていくことが、どれほど難しいか身にしみて分かりました。後輩のことを気にかけながら、自分のプレーに全力で取り組み、かつチームをまとめなければならない。先輩方の偉大さを実感しました。これから、何度も壁にぶち当たることがあると思いますが、先輩としてチームをまとめ、どんな時にも諦めず、粘り強く取り組んでいけるチームにしていきたいです。

この２学期、私はたくさんのことを学びました。それらを活かしてよき手本となる３年生になれるように３学期を過ごしていきたいです。来年は、進路についても具体的に考えていかなくてはなりません。一日一日を大切に、学習面においても行事においても部活動においても、悔いなく、さらに充実した日々が送れるようにこれからも努力していきます。

保護者の皆様へ

平素より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今学期より２年生の生徒たちは部活動や生徒会などでは学校の中心となり活躍しています。学校生活をより良くしようと委員会、係活動なども活性化させ奮闘しています。これは「自治」の芽生えであり確実な成長を感じます。３学期は２学年のまとめの学期であるとともに、次年度の準備期間でもあります。いよいよ来年は勝負の年となります。２学年職員一同、生徒たちの持てる力をさらに引き上げるべく取り組んで参ります。この１年、保護者の皆様には大変お世話になりました。来年もよろしくお願い申し上げます。　　２学年主任　吉井　稔雄